

特集

将来に明るいみちすじをつける キラッと生産現場

今年の春、NHKのテレビ番組に、市内の企業が登場しました。思い出のピアスをなくしてしまった女性起業家のアイデアをもとに、ピアスを外れにくくするピアスキャッチを開発、商品化した事例で、小さな精密加工工場が団結し、それぞれの得意技術で製造工程を分担するというスタイルにスポットが当てられていました。

厳しい経済状況に耐え、突破口を開こうとしているのは、それらの会社だけではありません。おかやのものづくりは、優れた技術力を伝統に、新しい、おもしろい、美しい、おいしいなどにかたちを変え、輝きを生み出しています。今回は、成長産業の現場から、明日を照らす挑戦のレポート…岡谷の産業振興について考えます。

市内の産業を元気に！

岡谷のまちににぎわいと活力を与えるため、基幹産業の製造業を軸として、商業、観光、農業までを含めた産業全般の振興に積極的な取組を行い「たくましい産業の創造」を実現してまいります。

現在の厳しい経済状況下であるからこそ、果敢に立ち向かい挑戦する姿勢が、行政のみならず、産業に関わる全ての方々にとって必要なことでもあります。

今後も、産業全般の活性化を downstream していくことにより、力強い市内経済の構築と雇用の創出を図ってまいりますので、よろしくお願いたします。

副市長(産業振興担当) 宮澤 昇

光を放つ、おかや情熱のものづくり 〈農業編〉 〈商業編〉

トウモロコシ「ゆめあかり」を
地域限定ブランドとして売り出し中

樋沢高冷地農業活性化組合の
キラツと

皮が薄く糖度の高い、新品種系のなかでも、味がよく人気のあるトウモロコシ（品種名サニーショコラ）に「ゆめあかり」と独自の名前をつけ、地域特産物に育てた。3本500円、ふつうのものより高いが、それに見合う価値があると大好評。

トウモロコシ農家の山田千秋さんと五味利男さん一家。あかりちゃんも今は4歳！「ここでつくって、ここで売る。新鮮なおいしさを、地元の人に」と、8月は中旬の連日とその後の週末（9月上旬まで）地区内で朝市を開催。これを楽しみにして、また評判を聞きつけ、早朝から並ぶ人も。9月9日の農業フェスティバルにも出店予定。

問合せ ● 農林水産課（内線1486）



半遊休状態の牧草地を畑にして、樋沢ブランドの農産物をつくろう！組合で農業フェスティバルを10年やった手応え、また、トマトやトウモロコシなど糖度の上がる野菜が樋沢に合うという実感から、当時の組合長であった斉藤さんがトウモロコシに着目し、市農林水産課の協力を得て、品種を選定。5年前から、地区の山田さん、五味さん、林さんの3軒で取り組んだ。その年、五味家に誕生したあかりちゃんの名前をとって「ゆめあかり」と命名。今年、2町歩（約2ヘクタール）10万本の作付け、鳥獣対策や虫の防除に追われながらも、天候に恵まれ順調に生育、いまま収穫が続いている。市内の保育園、小・中学の農業体験、つみとり体験、給食への提供依頼などにも、できるだけ対応。首都圏や関西からの引き合いもあるが、まずは地産地消と、地元への思いを胸に汗を流す。

素材の力を信じ、
謙虚な気持ちでそばと向き合う

そば処 岳家の
キラツと

そばはシンプル、ごまかしがきかない食べ物。心、すっきりほっこり…正真正銘、信州人のソウルフードである。そば好きがそば好きに教えたくくなるような、おいしいを共感しあえる店。風味、歯ごたえ、のどごし、そば湯まで、さあ、ご賞味あれ。

店主の濱岳志さんと女将さん。「まだまだかけだし、山登りのように一步一步、メニューも試行錯誤しながらやっています。諏訪地方にはあまりなじみがないですが、看板メニューのひとつ“とうじそば”は、信州ならではの食べ方。ぜひお試しください」

問合せ ● ☎78-8846（湊5丁目）



食への強い思いから、好きなそばとそば打ちを仕事にと、2008年、松本で創業。昨年7月、自宅のある諏訪市ではなく岡谷へ移転し開業。物件が気に入ったのはもちろんだが、人との出会いとつながりが決め手となった、店舗の改修や家賃補助といった市の支援制度が利用できたのもそのおかげと話す。だからこそ、いいそばを打って提供し、地元のお客さんに喜んでほしい。おいしい水、八ヶ岳産の選りすぐりのそば粉、国産大豆に沖繩の塩を木樽で仕込んだ無添加のしょう油、一本釣りで揚げた鰹の2年もの枯本節…心と技のこもった素材と温かいお客さんに助けられ、夢のそばをめざす。



身のまわりで採れる食材を、その場所で食べるのがいちばん。生きるということ、おいしいと感じること、健康で楽しくあること…

光を放つ！おかや情熱のものづくり〈工業編〉

電気二重層キャパシタは、大容量の放蓄電がロスなく短時間ででき、エネルギーの効率的な利用が可能。環境負荷を少なくする電子&化学部品として、エコカー、重機、太陽光発電システムなどに搭載。今後、いっそうの需要の拡大が見込まれている。

電気二重層キャパシタを開発。 技術の優位性で存在感を示す TOCキャパシタ株式会社の キラッと

「エネルギー回生装置として、電気二重層キャパシタの採用が広がることは確実。他社を上回る技術の優位性を保ち、積極的に勝負していきたい」と丸山律夫社長（岡谷電機産業会長）。この秋、20名ほどの新規採用も予定とのこと

問合せ ● ☎75-5788（天竜町3丁目）



電気二重層キャパシタ、手づくり試作品第1号



開発部門は現在6名。両社が蓄積してきた技術に、化学の知識や専門性をプラスし、さらなる品質向上をめざしている



の工場がこの10月から稼働。受注に向け、11月にはサンプル製品の出荷を開始するなど、1年後の量産を視野に事業展開している。

昨年4月、岡谷電機産業とTPRが共同出資して会社を設立。そのきっかけは、市が主催した「岡谷市の産業振興を考える懇談会」での情報交換。「何かいっしょにできないか？」…電子と機械の部品メーカーが、メカから電気へ大きく舵を切る自動車産業の変化に対応するためタッグを組み、蓄電器（コンデンサー）市場に参入した。

新領域への挑戦とあつて、競争力の高い製品の開発に2年を見込んでいたが、予定より半年早く、先行する大手メーカーの従来品よりも、体積あたりの蓄電容量を2倍に高めた自社製品の開発に成功。国内産業を元気にする新たな分野での挑戦として、国の補助事業に採択され、試作ラインと少量生産ライン

ネットワークが支える提案力で 絶対的ニーズを掘り起こす サイウインド株式会社の キラッと

ありそうでなかったモニタースタンド、モニターアーム。なめらかに動いてどこでも止まるストレスのない自由な可動と安定保持、その機構は、ものづくり技術の粋。使用環境に合わせて顧客をサポートするカスタマイズ技術で、医療分野に展開も。

「直の反応や声はありがたいもの。展示会は、ニーズを拾う願ってもない機会なので、市の共同出展により、全国規模の展示会にも参加できるのは大きい。医療機器、病院やリハビリ施設の需要を見込んで、大学や医師との協力関係ができたのも、展示会がきっかけ」と渡邊悟社長

問合せ ● ☎55-5006（神明町3丁目）



フリーストップ、ツインリンク機構で快適に動く

試練の時を過ぎたが、試作の評判は上々、2か月後には製品を納入した。

ほんとうに必要なものを作らなければ、売れない時代。個々に違うニーズに合わせて、細やかに柔軟に対応する、提案型のものづくりを志して、2008年に創業。品質管理、技術営業、海外駐在など、社員時代の経験も総動員し、カスタム工業部品の輸入や販売をしつつ、市内企業との連携を深め、新旧の人脈を温めるなか、チーム・ブレイ的にアップル・iMac用のフレキシブルアームスタンド開発をスタート。2年を費やし、製造、販売にこぎ着けた。一方、カラオケ本舗まねきねこが展開するひとりカラオケ「ワンカラ」のピットで採用の多関節アームは、開発期間わずか1か月。設計者とともに

LED展開からの基板応用技術と 特許戦略でチャンスを広げる 株式会社ダイワ工業の キラッと

耐熱性、放熱性に優れた電子部品へのニーズは、節電や環境問題対応などで増大の一途。身近なLED照明、車などの分野から、超精密な医療機器や情報通信機器までを支えているのは、熱抵抗や熱伝導性を改善したパッケージだ。高放熱基板は、多様化と高性能化の救世主であるともいえる。

「開発とは、オンリーワンのアイデアをエブリワンが使える技術や製品にすること。空洞化に歯止めをかけるためには、いま、自分たちが動かないと。ここに権利を残して、利益が循環するしくみ、開発意欲を盛り上げていくモデルをつくりたいですね」と吉村栄二社長

問合せ ● ☎22-5758 (神明町4丁目)



新型の放熱基板(DPGA)



ダイワ工業
社屋全景

世代に残すことが使命であると考えている。放熱基板(DPGA)、新技術の基板を作っている53名の社員とともに、その道を進む舞台に立ち、次の

「空洞化」
そして10年後の岡谷のまちに何があるだろうか？
市内製造業が技術を手に持ち、また、抱えている
これからの課題について、産業振興に力を入れている
岡谷を本拠地とし、この地で利益循環を生む「しくみ」を作っていく。

ビルドアップ工法による高度なプリント配線基板技術に、独自の進化を加え特許を取得。さらに基板技術と新素材を組み合わせた応用で、新領域へ。LEDとの出会いにより、エコ社会、省エネ時代にびたりとマッチする高放熱基板を誕生させ、高コストからの脱却、小型軽量化を実現した。
成長した技術は、故郷を離れ旅をすることができない。パスポートがなくても海外に行け、そのまま帰らなくなってしまうこともある。

「空洞化」
そして10年後の岡谷のまちに何があるだろうか？
市内製造業が技術を手に持ち、また、抱えている
これからの課題について、産業振興に力を入れている
岡谷を本拠地とし、この地で利益循環を生む「しくみ」を作っていく。

産業振興 Q&A

Q1: 産業振興はなぜ必要?

A1: まちににぎわいと活力を与えるために行います。

製品や商品をつくる、売る → 利益を生む → 働く場所が増え人が集まる → 収入が安定 → 力強い経済活動が生まれる

【結果】★市税収入が増え、福祉や道路整備など、さまざまな事業が充実する
★まちが活性化する

Q2: 岡谷の基幹産業は、やっぱり製造業?

A2: 「シルク岡谷」の産業基盤を受け継ぎ、技術の蓄積を原動力に、先進的なものづくりを醸成、近代工業都市に発展してきた歴史があります。

製造業の事業所数が、諏訪地域6市町村のなかで1番

Q3: 産業振興、

具体的に市は何をしているの?

A3: 次の8つの取り組みに力を入れています。

- 1 現状把握のための「情報収集の強化」
- 2 現場に出向き企業のニーズを積極的に把握する「相談機能の充実」
- 3 不景気打破に向けた「金融支援」
- 4 展示会への出展など新たな仕事確保のための「新規受注対策」
- 5 既存の市内企業にも波及効果を与える「企業誘致」
- 6 技術を高める研究開発のための「新技術・新製品の開発支援」
- 7 求人・求職の両面から雇用を守る「人材への支援」
- 8 新たな産業の芽を育てる「創業支援」

問合せ ● 産業振興戦略室(内線1441)

made in Nagano

全国産業観光フォーラム

in おかや

2012年10月11日(木)・12日(金)

【会場】カノラホール (岡谷市文化会館) ほか

産業観光ってなに？

歴史ある工場や産業文化財的機械、伝統ある産業製品などを、実際に見て触れて体験し、ものづくりの心にふれる新しい観光です。

全国産業観光フォーラムは、今年で12回目。毎年、全国の産業観光を推進している地域や関連企業などから、たくさんの方が集まり、これまでは名古屋、札幌、姫路など大都市で開催されてきました。平成21年には姉妹都市の富岡市でも開催しています。

どうして岡谷でやるの？

「産業集積地 岡谷が築いた産業史と技術力を観光ルートとして活用し、地域産業の活性化と“ものづくりのまち”として情報を発信」します。また、岡谷独自に「ものづくり観光」のブランドイメージを構築していくことと、製糸から精密工業、そして微細加工への産業変遷の歴史もPRし、ほかの地域にはない岡谷らしい産業観光を進めることがねらいです。

今年のフォーラムは、岡谷市を中心に、諏訪6市町村と塩尻市・辰野町を加えた8市町村で広域開催されます。岡谷市観光協会の観光サポーターも参加し、全国からのみなさんをおもてなしします。併せて「第50回技能五輪全国大会」「諏訪圏工業メッセ」とも連携し、ものづくり長野をPRします。

フォーラムの内容と、参加申し込みは？

1日目は、開会式、記念講演、分科会、交流会など、2日目は産業観光の現場をまわるツアーが行われます。これらは有料のプログラムで、事前に申し込みが必要です。詳しくは参加申込書、または「旅たびおかや」のホームページをご覧ください。(2日目だけの有料参加はできませんのでご注意ください)

自由に見学できる【産業観光展示PR】も開催

座繰り製糸の実演／宇宙ロケット、はやぶさのレプリカ展示／野菜工場ユニットの展示／最先端機器の展示・キットコンベヤ、時計、オルゴール、アクセサリなどの組立てキットの実演／観光PR／土産品の販売 など

【記念講演会 無料聴講のご案内】

フォーラム開催8市町村に在住の人を対象に、**宇宙飛行士 山崎直子さんの記念講演会** (開会式含む) へ、抽選で300名を無料でご招待します。聴講希望者は、往復はがきでご応募ください。

日時…10月11日(木) 午後1時(開会式)～3時15分

会場…カノラホール 大ホール

講師…山崎 直子 氏

「宇宙への夢と旅 ～宇宙、人、夢をつなぐ～」

申込み…往復はがき(右図参照) 9月21日(金)必着。

※定員を超えた場合は抽選、10月上旬に結果を通知(発送)します。

※1人1枚限り 1枚で4名まで申し込み可



【講師プロフィール】

日本人で8人目(女性では2人目)の宇宙飛行士、日本宇宙少年団(YAC)副団長。2001年に国際宇宙ステーション搭乗宇宙飛行士として認定される。厳しい訓練を重ね、2010年、遂に日本人最後のスペースシャトル搭乗員として「ディスカバリー号」に搭乗し、国際宇宙ステーションでのミッションを行った。

(往信表面)

(返信裏面)

(返信表面)

(往信裏面)

394-85110

(往信)

岡谷市幸町8-1
フォーラム
記念講演会
申込み係

こちらの面には
何も記入しないで
ください

00000000

(返信)

ご自分の
郵便番号
住所
氏名

- ①代表者名
- ②参加人数
- ③電話連絡先
- ④連絡先